

精神科専門医プログラム

定員
3名



プログラム責任者
秋田県立リハビリテーション・
精神医療センター
兼子 義彦
精神科診療部長

専 門 研 修
担 当 者
連 絡 先
総務管理課長
TEL.018-892-3751 FAX.018-892-3757
E-mail rehacen-kensyu@akita-rehacen.jp
HP http://www.akita-rehacen.jp/



プログラムの特徴

本プログラムは基幹施設である秋田県立リハビリテーション・精神医療センター（以下、秋田リハセン）と県内18施設の研修連携施設により構成される精神科専攻医プログラムです。研修施設には総合病院、精神科専門病院、秋田大学医学部附属病院精神科が含まれます。精神科医として、急性期の精神病治療を始め、慢性期のリハビリテーション、認知症の診断、治療、処遇調整、リエゾン、司法精神医学、災害精神医療等に関する実践的スキルについて幅広く学べる上、大学附属病院の支援でリサーチマインドの涵養も行える点が本プログラムの特徴です。



プログラムの説明

研修1年目は研修基幹施設である秋田リハセンにおいて精神医療の基本的な研修を行います。秋田リハセンは精神病床200床に加えて、脳血管障害リハビリテーションを中心とするリハビリテーション専用的一般病床100床を持つ複合的病床構成の病院です。秋田県における精神科救急システムの3次病院である精神科救急拠点病院であり、救急患者の受け入れを積極的に行っています。又、認知症の診断、治療にも力を入れています。基本となる精神病理、精神薬理他の精神科医の基本的知識と技量を学ぶとともに、精神科急性期の精神療法、薬物療法を始め、脳器質精神障害全般、認知症を特に重点的に研修し、m-ECTの適応と実施も学びます。また、関連する地域専門病院において、慢性期の患者の処遇、精神科リハビリテーションを中心とする地域医療を学びます。対象となる地域専門病院は中央地区の秋田東病院、今村病院、秋田回生会病院、笠松病院、加藤病院、協和病院、杉山病院、清和病院、緑ヶ丘病院および県南地区の市立大曲病院、象潟病院、菅原病院です。

研修2年目は総合病院である県北地区の能代厚生医療センター、中央地区の市立秋田総合病院、秋田大学医学部附属病院のいずれかにて研修を行います。市立秋田総合病院、能代厚生医療センターでは、総合病院精神科として、一般精神科救急はもとより、合併症対応について、他科との連携を含む経験が積めます。秋田大学医学部附属病院精神科では、総合病院精神科としての技能に加えて、実地臨床上の症例経験から臨床研究を展開する方法についても学びます。

研修3年目の前半は全ての研修施設の中から専攻医の希望する施設で研修します。前述の施設群に加えて、総合病院として緩和医療、外来治療、合併症治療やリエゾン等を幅広く学習出来る中通総合病院や秋田赤十字病院でも研修可能です。後半は秋田リハセンで研修する傍ら、週に8時間、地域専門病院で研修します。なお、研修2,3年目に連携施設で研修する期間も週に4時間、症例報告、臨床研究について秋田リハセンの指導医等が指導します。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

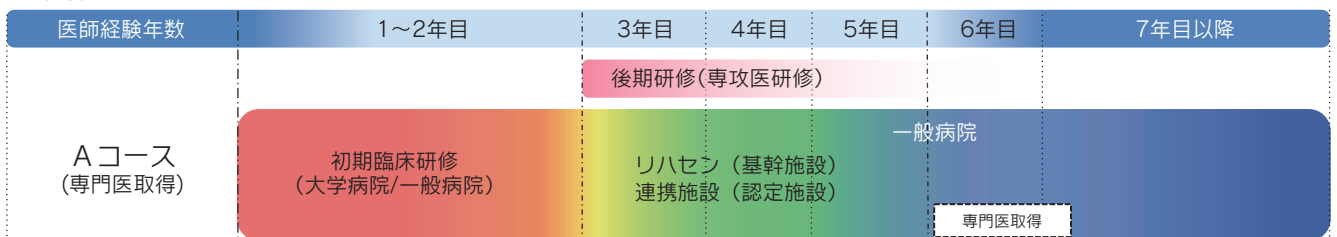
専門医: 小畑信彦、佐藤隆郎、倉田晋、兼子義彦、向井長弘、須田秀可、成田恵理子、小林祐美

指導医: 小畑信彦、佐藤隆郎、倉田晋、兼子義彦、向井長弘、須田秀可、成田恵理子

関連施設(連携施設): 秋田東病院、今村病院、秋田回生会病院、笠松病院、加藤病院、協和病院、杉山病院、清和病院、緑ヶ丘病院、市立大曲病院、象潟病院、菅原病院、能代厚生医療センター、市立秋田総合病院、秋田大学医学部附属病院、中通総合病院、秋田赤十字病院、横手興生病院



取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャリティ:未定

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

精神科専門医プログラム